
参 考 资 料

インターネットを活用する能力とは？

ひとくちに「インターネットを活用する」といっても、その内容としてはさまざまな知識や能力が含まれています。

日常生活でインターネットを利用する際に身につけておくことが望ましいと考えられる基礎的な知識や能力のことを「情報リテラシー」と呼びますが、情報リテラシーは年齢や生活によっても異なります。とくに、シニアやシルバーの方向けの情報リテラシーは整備されていませんでした。そこで I-ROI では、シニアやシルバーの方の情報リテラシーを整理して、インターネットを活用するために必要な能力を「スキルマップ」としてまとめました。

スキルマップでは、インターネットを活用するための情報リテラシーを段階的に構造化しています。また、個々のスキルは「態度」「知識」「技能」に紐付けられています。

「態度」は考え方や行動原理として身につけておくべきこと、「知識」は情報として知っておくべきこと、「技能」は実際に操作できることを意味します。

この教材のカリキュラムも、このスキルマップをもとに構成されています。

以下に、スキルマップを示します。

スキルマップについて

分野	大項目	中項目	小項目
情報活用フィールド	情報社会への参加	主体的にコミュニケーションできる力	インターネットではネットワークを介して、他者と意見交換したり情報をやり取りすることができる。
			インターネットを使うことで生活をより豊かにすることができることを説明できる。
		情報を批判的に読み説く力	インターネットには正しい情報だけではなく間違った情報もあることを説明できる。
			インターネットにある情報は、送り手の考えや意見によって作られていることを説明できる。 インターネットにある情報を鵜呑みせず、批判的に読み解くことができる。
	情報活用力	Webページを操作する力	Webブラウザを立ち上げてWebページを閲覧することができる。
			情報を収集する力
		検索窓に2つ以上のキーワードを入れてWebページを検索することができる。	
		地図検索サービスを使って、場所を確認することができる。	
		画像検索サービスを使って、写真を検索することができる。	
		画像共有サービスに登録されている写真の中から必要な写真をダウンロードすることができる。	
		デジタルカメラで撮影した写真をパソコンに取り込んで利用することができる。	
		メディアによっては情報の収集の仕方や情報の内容に違いがあることを説明できる。	
		収集した数多くの情報から自分が求めている情報を選択することができる。	
		テレビや新聞などの他のメディアと比較しながら、インターネットから自分の必要な情報を収集することができる。	
GPS機能を活用して外出や観光ができる。			
情報を発信する力	掲示板やSNSなどのコミュニケーションサイトに、紹介文を投稿することができる。		
	画像共有サービスに写真を投稿することができる。		
	ブログやメールなどのコミュニケーションツールの基本操作を行うことができる。		
	デジタルカメラやプリンターなどの周辺機器の基本操作を行うことができる。		
	ブログやメールなどのコミュニケーションツールにおいて写真や動画を利用してコミュニケーションすることができる。		

分野	大項目	中項目	小項目
情報活用 フイールド	情報活用力	情報を処理・編集する力	画像データの容量を変更できることを説明できる。
			デジタルデータを移動したりコピーしたりすることができる。
			ワープロやエディターを使って文章を作成することができる。
			画像編集ソフトを使って画像を作成することができる。
			収集した情報を整理したり、組み合わせたりして自分の目的に合った情報にすることができる。
			収集した情報と自分が作成した情報を区別して情報を作成する態度をもっている。
	情報を表現する力	情報を表現する力	グラフ、図や表を使うことで情報を分かりやすく表現できることを説明できる。
			ソフトウェアを利用してグラフ、図や表を作成することができる。
			情報を伝達する力
	情報を伝達する力	情報を伝達する力	ブログやメールなどを利用して相手に自分の考えや意図を伝えることができる。
			自分の考えや意図は伝え方によっては伝わらなかったり誤解される場合があることを説明できる。
			自分の考えや意図を分かりやすい表現で相手に伝えることができる。
	情報ネットワークの仕組み	インターネットに関する知識	インターネットでは誰もが情報発信することができることを説明できる。
			インターネットでは文書・写真・動画などの情報を発信することができることを説明できる。
			インターネットでインターネットショッピング、チケット予約、ネットバンキングなどが利用ができることを説明できる。
			インターネットは情報が伝わるスピードが早いことを説明できる。
			インターネットは情報が伝わる範囲が広範囲になることを説明できる。
			インターネットでは一度流れた情報は撤回・消去できないことを説明できる。
			インターネットは匿名で利用してしまえることを説明できる。
			情報機器・ソフトに関する知識
			コンピュータの基本的な仕組みを説明できる。
ブログやメールなどのコミュニケーションツールの性質や用途について説明できる。			
携帯電話、デジタルカメラ、プリンタなどの周辺機器とパソコンとのかわりについて説明できる。			

分野	大項目	中項目	小項目
安全倫理 フィールド	情報社会の倫理	コミュニケーションする相手を尊重する態度	個人情報の漏洩に配慮することの重要性を説明できる。
			コミュニケーション相手に配慮した発言をするべきであることを説明できる。
			文字だけのコミュニケーションでは言葉づかいが荒くなったり感情的になってしまう可能性があることを説明できる。
			インターネットのコミュニケーションにおいてもルールやマナーがあることを説明できる。
			自分と違う意見を持つ相手の意見を尊重してコミュニケーションする態度をもつ。
	法令の理解と遵守	関連法令に対する知識・態度・技能	人権に配慮したインターネットの活用ができる。
			Webページ、写真、本などの情報の多くは著作権により権利が保護されていることを説明できる。
			人を写真に写す場合やその写真をWebに掲載する場合には肖像権に配慮しなければならないことを説明できる。
			Webに公開されている写真の著作権は撮影者にあることを説明できる。
			著作権が切れた作品は許諾を得ずに利用することができることを説明できる。
			Webページで表示される契約内容を読んで理解することができる。
			インターネット上で購入、申し込み、契約行為を行うことができる。
	安全利用への知識	情報を安全に利用する力	インターネットの情報は玉石混交であることを説明できる。
		危険を回避する力	ウイルス、フィッシングサイト、スパムメールなどが危険であることを説明することができる。
			インターネットを利用して困ったときには関連コールセンターに問い合わせることでアドバイスを受けることができる。
情報機器を健康的に利用する力		適切な休憩をとり、モニター画面を長時間注視しない。	
		適切な姿勢でコンピュータを利用できる環境を整える。	
		目の位置とモニターの位置を適切に調節できる。	

分野	大項目	中項目	小項目
安全倫理 フィールド	情報セキュリティ	情報の保護・ 管理ができる 力	IDとパスワードを管理することの重要性を説明できる。
			どのような情報を開示するか、適切に個人情報の管理することの重要性を説明できる。
			セキュリティ上パソコンや携帯電話を適切に管理することの重要性を説明できる。
			自分や他者の個人情報を掲示板などに書き込むと、それを悪用するものがあることを説明できる。
			インターネットでは自分が受信したくない情報を送信してくる相手があることを説明できる。
			インターネットで望ましくない情報に遭遇した場合の適切な対処ができる。
			コンピュータや携帯電話には沢山の個人情報が記録されていることを説明できる。
			インターネットでは、なりすましなど本人が名乗るとおりでない者がいることを説明できる。
			インターネットには不正アクセス等の行為を行う悪意の者がいることを説明できる。
			セキュリティ対策等が適切に行われているインターネットショッピングサイトを選ぶことができる。

教材で扱っているスキル

この教材では、スキルマップの以下の項目を扱っています。

章のタイトル	スキルマップ		
	大項目	中項目	小項目
1 調べる、情報発信する、以外にも便利がいっぱい！	情報社会への参加	主体的にコミュニケーションできる力	インターネットを使うことで生活をより豊かにすることができることを説明できる。
	情報ネットワークの仕組み	インターネットに関する知識	インターネットでインターネットショッピング、チケット予約、ネットバンキングなどが利用できることを説明できる。
	法令の理解と遵守	関連法令に対する知識・態度・技能	インターネット上で購入、申し込み、契約行為を行うことができる。
2 誰もが記者や作家になれるインターネット	情報活用能力	情報を発信する力	ブログやメールなどのコミュニケーションツールの基本操作を行うことができる。
	情報ネットワークの仕組み	インターネットに関する知識	インターネットでは誰もが情報を発信することができることを説明できる。
	情報ネットワークの仕組み	インターネットに関する知識	インターネットでは文書・写真・動画などの情報を発信することができることを説明できる。
	情報ネットワークの仕組み	インターネットに関する知識	インターネットは情報が伝わるスピードが速いことを説明できる。
	情報ネットワークの仕組み	インターネットに関する知識	インターネットは情報が伝わる範囲が広範囲になることを説明できる。
	情報ネットワークの仕組み	インターネットに関する知識	インターネットは匿名で利用してしまえることを説明できる。
	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	インターネットでは自分が受信したくない情報を送信してくる相手がいることを説明できる。
3 インターネットの情報って信用できるの？	情報社会への参加	情報を批判的に読み解く力	インターネットには正しい情報だけでなく、間違った情報もあることを説明できる。
	情報社会への参加	情報を批判的に読み解く力	インターネットにある情報は、送り手の考えや意見によって作られていることを説明できる。
	情報社会への参加	情報を批判的に読み解く力	インターネットにある情報を鵜呑みにせずに、批判的に読み解くことができる。
	情報活用能力	情報を収集する力	メディアによっては情報の収集の仕方や情報の内容に違いがあることを説明できる。
	情報活用能力	情報を収集する力	収集した数多くの情報から自分が求めている情報を選択することができる。
	情報ネットワークの仕組み	情報機器・ソフトに関する知識	ブログやメールなどのコミュニケーションツールの性質や用途について説明できる。
	安全利用への知識	情報を安全に利用する力	インターネットの情報は玉石混交であることを説明できる。

章のタイトル	スキルマップ		
	大項目	中項目	小項目
4 個人情報の漏えいに気をつけよう	情報活用能力	情報を処理・編集する力	ワープロやエディターを使って文章を作成することができる。
	情報社会の倫理	コミュニケーションする相手を尊重する態度	個人情報の漏洩に配慮することの重要性を説明できる。
	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	どのような情報を開示するか、適切に個人情報を管理することの重要性を説明できる。
	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	自分や他者の個人情報を掲示板などに書き込むと、それを悪用する者がいることを説明できる。
5 写真をメールにするってどういふこと？	情報活用能力	情報を発信する力	デジタルカメラやプリンターなどの周辺機器の基本操作を行うことができる。
	情報活用能力	情報を発信する力	ブログやメールなどのコミュニケーションツールにおいて、写真や動画を利用してコミュニケーションすることができる。
	情報活用能力	情報を処理・編集する力	画像データの容量を変更できることを説明できる。
	情報活用能力	情報を処理・編集する力	デジタルデータを移動したりコピーしたりすることができる。
6 パスワードは自分だけの合言葉	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	IDとパスワードを管理することの重要性を説明できる。
	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	インターネットでは、なりすましなど本人が名乗るとおりでない者がいることを説明できる。
	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	インターネットには不正アクセス等の行為を行う悪意の者がいることを説明できる。
7 パソコンや携帯には個人情報がいっぱい	安全利用への知識	危険を回避する力	インターネットを利用して困ったときには、関連コールセンターに問い合わせることでアドバイスを受けることができる。
	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	セキュリティ上パソコンや携帯電話を適切に管理することの重要性を説明できる。
	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	コンピュータや携帯電話にはたくさんの個人情報が記録されていることを説明できる。
8 「君子危うきに近寄らず」はインターネットでも！	安全利用への知識	危険を回避する力	ウイルス、フィッシングサイト、スパムメールなどが危険であることを説明することができる。
	情報セキュリティ	情報の保護・管理ができる力	インターネットで望ましくない情報に遭遇した場合の適切な対処ができる。
9 インターネット上のつきあいも、思いやりが重要	情報活用能力	情報を伝達する力	ブログやメールなどを利用して相手に自分の考えや意図を伝えることができる。
	情報活用能力	情報を伝達する力	自分の考えや意図は伝え方によっては伝わらなかったり、誤解されたりする可能性があることを説明できる。
	情報活用能力	情報を伝達する力	自分の考えや意図を分かりやすい表現で相手に伝えることができる。

章のタイトル	スキルマップ		
	大項目	中項目	小項目
9 インターネット上のつきあいも、思いやりが重要	情報社会の倫理	コミュニケーションする相手を尊重する態度	コミュニケーション相手に配慮した発言をすべきであることを説明できる。
	情報社会の倫理	コミュニケーションする相手を尊重する態度	文字だけのコミュニケーションでは言葉遣いが荒くなったり、感情的になってしまう可能性があることを説明できる。
	情報社会の倫理	コミュニケーションする相手を尊重する態度	自分と違う意見を持つ相手の意見を尊重してコミュニケーションする態度をもつ。
10 いつのまにか犯罪者にならないために	情報活用能力	情報を処理・編集する力	画像編集ソフトを使って画像を作成することができる。
	情報社会の倫理	コミュニケーションする相手を尊重する態度	インターネットのコミュニケーションにおいてもルールやマナーがあることを説明できる。
	法令の理解と遵守	関連法令に対する知識・態度・技能	Webページ、写真、本などの情報の多くは著作権により権利が保護されていることを説明できる。
	法令の理解と遵守	関連法令に対する知識・態度・技能	人を写真に写す場合やその写真をWebに掲載する場合には肖像権に配慮しなければならないことを説明できる。
	法令の理解と遵守	関連法令に対する知識・態度・技能	Webに公開されている写真の著作権は撮影者にあることを説明できる。

理解度テスト

この教材では、インターネットを楽しく安全に使うための「知識」や「態度」について学びました。この教材の内容をどれだけ理解できたかを確認するために、簡単な自己診断テストを用意しました。ご自分の理解度を確認してみてください。

このテストは教材で学んだことが身に付いているかをご自分で確認するためのものです。誰かと比べるために行うテストではありません。理解度テストによってご自分の理解が不十分なところを明らかにすることが目的です。

解答のページには、この教材の関連ページが記載されていますので、間違ってしまった問題を解説したページをもう一度読み返すことで、弱点を補うことができるでしょう。

学習の振り返りとして、楽しく理解度テストに取り組んでください。

(監修：青山学院大学総合研究所 eラーニング人材育成研究センター)

Q1: インターネットに掲載されている情報についての説明として、もっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: インターネットで公開されている Web サイトには正しい情報が掲載されている
- 2: インターネットには、正しい情報だけではなく間違った情報もある
- 3: インターネットで検索すれば、常に最新の情報が表示できる
- 4: インターネット上の情報のほとんどが間違った情報である

回答 _____

Q2: 下記にあげるインターネット上の情報の中でもっとも信憑性が低いものはどれでしょうか？

- 1: 自治体の Web サイトに掲載されている情報
- 2: ファンの情報交換サイトに匿名で投稿された情報
- 3: 新聞社が配信しているネットニュースの記事
- 4: 専門家が個人のブログに実名で掲載している情報

回答 _____

Q3: インターネット上に公開されている情報を利用する上で配慮すべき点として
もっとも適切ではないものはどれでしょうか？

- 1: インターネットで検索した情報なら、正確な内容であると信頼する
- 2: 本当に正しい内容であるかどうか、発信者の意図を考えながら読む
- 3: 同じ内容を扱う複数の情報を見比べて、正確さを判断する
- 4: いつ書かれた情報なのか、公開された日時を確認して読む

回答 _____

Q4: メールファイル添付の説明として、もっとも不適切なものはどれでしょうか？

- 1: メールに添付して、動画データを送ることができる
- 2: メール添付では、機能的に写真以外のデータを送ることはできない
- 3: 大容量のデータは、メールに添付して送れないことがある
- 4: メールに添付して大容量のデータを送ると、送信に時間がかかることがある

回答 _____

Q5: 写真データを相手に送信する際に配慮すべき点として、もっとも**不適切な**ものはどれでしょうか？

- 1: 大容量の写真でも、こちらからメールで送信できれば必ず相手は受信できる
- 2: 大容量の写真データは、メールでは送信できない場合がある
- 3: ファイル共有サービスを利用して写真データを相手に送ることもできる
- 4: 写真データを受け取った場合は、ウイルスチェックソフトを利用して、安全なデータかどうかを確認する

回答 _____

Q6: ファイル共有サービスの特徴の説明として、もっとも**不適切な**ものはどれでしょうか？

- 1: 公開範囲の設定を誤ると、預けたデータが一般に公開されてしまう
- 2: 相手と共有したいデータを、インターネットの決まった場所に預けておく
- 3: データを預けた場所を、共有したい相手に知らせて見に行ってもらう
- 4: 個人的な内容のデータであれば、一般には公開されることはない

回答 _____

Q7: インターネットの説明として、もっとも不適切なものはどれでしょうか？

- 1: インターネットでは、誰もが情報発信することができる
- 2: インターネットでは、発信した情報は必ず世界中の人が読んでくれる
- 3: インターネットでは、新聞や雑誌に比べ情報が伝わるスピードが早い
- 4: インターネットでは、実名を明かさず匿名で情報発信することができる

回答 _____

Q8: 以下の文章は、インターネットでできることを説明したものです。もっとも不
適切なものはどれでしょうか？

- 1: インターネットショッピングで購入した商品を配達してもらえる
- 2: スポーツや観劇のチケットを予約購入することができる
- 3: 銀行の営業時間を気にせず残高確認や振り込みができる
- 4: 匿名で情報発信すれば、違法情報や有害情報でも公表できる

回答 _____

Q9: インターネットに情報を公開する場合の注意点について、もっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: インターネットに公開した情報は、世界中の目に触れることに注意する
- 2: インターネットを見た人が連絡しやすいように氏名や住所を記載する
- 3: 氏名や住所を記載しなければ、顔が分かる写真を公開しても安心である
- 4: 所属や関係を記載しなければ、知人の話題を公開しても安心である

回答 _____

Q10: 個人情報や機密情報を保護する対策として、もっとも**不適切な**ものはどれでしょうか？

- 1: 個人情報や機密情報を記載したファイルは、暗号化して保管する
- 2: 外に持ち出さないデスクトップパソコンには、パスワードの設定は不要である
- 3: 携帯電話を紛失した場合は、すぐに携帯電話会社に連絡し利用を中断する
- 4: 個人情報や機密情報を扱うパソコンには、起動のパスワードを設定する

回答 _____

Q11: インターネットで行うコミュニケーションの特徴を説明した文章として、もっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: 対面して会話する時と同じようにコミュニケーションするよう心がける
- 2: 文字だけでコミュニケーションする方が、本当の気持ちが伝わりやすい
- 3: 対面よりインターネットでコミュニケーションする方が冷静に判断できる
- 4: 文字だけのコミュニケーションでは、言葉づかいが荒くなったり、感情的になってしまう可能性が高い

回答 _____

Q12: インターネットですぐにコミュニケーションするための工夫として、もっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: 自分のブログに何を書くかは自由だから、書きたいことを書く
- 2: 文章のやり取りは、相手の真意が理解しやすいので誤解が起こらない
- 3: 顔文字や記号などを使って、自分の気持ちをうまく表現するよう工夫する
- 4: インターネットですぐに生じた誤解は、電話をしたり直接会って話す必要はない

回答 _____

Q13: あなたが撮影した友人の写真をインターネットで公開したい場合の対応として、下記のうちでもっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: 写真をインターネットで公開する前に、友人に確認をとり承諾をうける
- 2: 他人の写真をインターネットで公開することは権利侵害にあたるので絶対にしてはならない
- 3: 写真をインターネットで公開してから、掲載したことを知らせれば良い
- 4: 自分が撮った写真は自分の著作物なので、友人に連絡せず公開してよい

回答 _____

Q14: 次の行為で、著作権侵害にあたらない行為はどれでしょうか？

- 1: 友人のブログに自分のことが書いてあったので、その文章を自分のブログに丸ごとコピーして、友人に向けたメッセージを追加した
- 2: インターネットに公開されていたタレントの写真をコピーして、自分のブログに掲載した
- 3: 本の表紙の写真がきれいだったので、写真の部分だけブログに掲載した
- 4: ニュースサイトの記事へのリンクをつけて、自分の意見をブログに書いた

回答 _____

Q15: 友人が撮影した自分の写真をブログに掲載しようとしています。以下の説明のうち、もっとも適切と思われるのはどれでしょうか？

- 1: 写真を撮った友人と一緒に写真に写った友人のそれぞれに、ブログに掲載する了承を得る
- 2: 一緒に写った友人が了承しないので、自分が写った部分だけ切り取ってブログに掲載した
- 3: 自分が写った写真を自分のブログに掲載するのだから許諾はいらない
- 4: 友人はプロのカメラマンではないので、写真掲載の許諾を得る必要はない

回答 _____

Q16: インターネットに掲載された情報を読む場合に配慮すべき点として、もっとも正しいものはどれでしょうか？

- 1: 筆者や情報発信元が信用できるかを見極めて読むようにする
- 2: インターネットの情報は全て最新の情報なので積極的に活用する
- 3: 情報発信者の善意を感じると共に、その人を信頼して読まねばならない
- 4: インターネット上の情報は全て正確なので信頼して読めば良い

回答 _____

Q17: インターネットで安全にメールを利用するための対応として、もっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: 怪しいメールを受信した場合は「送信しないでください」と書いて返信する
- 2: 知らない相手からのメールにファイルが添付されていた場合は、ファイルを開いてウイルスでないことを確認する
- 3: 自分への返信になっている知らない相手からのメールは開かないで削除する
- 4: 知らない相手からのメールに URL が書いてある場合は、その URL をクリックしてリンク先を閲覧し、そのサイトが安全かどうか確認をする

回答 _____

Q18: 怪しいインターネットショッピングのサイトを利用してしまいました。トラブルを相談する窓口として、もっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: コンピュータを購入したコンピュータ販売店
- 2: コンピュータを製造したコンピュータメーカーの窓口
- 3: 使用したインターネットショッピングのサイトの連絡先
- 4: 国民生活センター インターネットトラブル

回答 _____

Q19: パスワードとして、下記の中でもっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: 家族の誕生日
- 2: 自宅の電話番号
- 3: 4桁のランダムな数字の並び
- 4: 8桁以上のランダムな英大文字／小文字と数字の並び

回答 _____

Q20: ファイルを暗号化したり、パソコンにパスワードを設定したりすることのメリットについての説明として、もっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: 情報が漏えいしたことを知るため
- 2: 重要な情報を安全に管理するため
- 3: インターネットを安全に利用できるようにするため
- 4: 遠隔操作でロックできるようにするため

回答 _____

Q21: インターネットで情報を利用・発信する際に配慮しなければならないことの説明として、もっとも適切なものはどれでしょうか？

- 1: 知らない相手から「無料」「儲かる」という件名のメールが届いた場合は、安全かどうかを確かめるために開いて読む
- 2: メールは、他人になりすまして送信されることがあるので、知人からのメールでも内容が不審な場合は確認が必要である
- 3: 身の覚えのない請求メールが来た場合は、送信してきた業者に問い合わせる
- 4: パソコンがウイルスに感染しても、時間が立てば自然に治癒してしまう

回答 _____

理解度テスト解答

理解度テストの解答は以下になります。答え合わせをしてみましょう。

問題	正解	大項目	出題コラム
Q1	2	「情報社会への参加」からの出題	3：インターネットの情報って信用できるの？
Q2	2		3：インターネットの情報って信用できるの？
Q3	1		3：インターネットの情報って信用できるの？
Q4	2	「情報活用力」からの出題	5：写真をメールするってどういうこと？
Q5	1		5：写真をメールするってどういうこと？
Q6	4		5：写真をメールするってどういうこと？
Q7	2	「情報ネットワークの仕組み」からの出題	2：誰もが記者や作家になれるインターネット
Q8	4		1：調べる、発信する、以外にも便利がいっぱい！
Q9	1		4：個人情報の漏洩に気をつけよう
Q10	2	「情報社会の倫理」からの出題	7：パソコンや携帯には個人情報がいっぱい

Q11	4	「情報社会の倫理」からの出題	9：インターネット上のつきあいも思いやりが重要
Q12	3		9：インターネット上のつきあいも思いやりが重要
Q13	1	「法令の理解と遵守」からの出題	10：いつのまにか犯罪者にならないために
Q14	4		10：いつのまにか犯罪者にならないために
Q15	1		10：いつのまにか犯罪者にならないために
Q16	1	「安全利用への知識」からの出題	3：インターネットの情報って信用できるの？
Q17	3		8：君子危うきに近寄らずはインターネットでも！
Q18	4		8：君子危うきに近寄らずはインターネットでも！
Q19	4	「情報セキュリティ」からの出題	6：パスワードは自分だけの合言葉
Q20	2		7：パソコンや携帯には個人情報がいっぱい
Q21	2		8：君子危うきに近寄らずはインターネットでも！

弱点克服のすすめ

解答表の右には問題が出題された教材のタイトルが記載されています。問題を間違ってしまった場合は、問題が出題されたページでもう一度学習してみてください。

自己確認用レーダーチャート

あなたの「情報リテラシー」をレーダーチャートで“見える化”してみましょう。

理解度テストの結果をレーダーチャートに記入してみましょう。記入例にならって、ご自分の正解数を各分野の各大項目の目盛りに記載し、線で結びます。

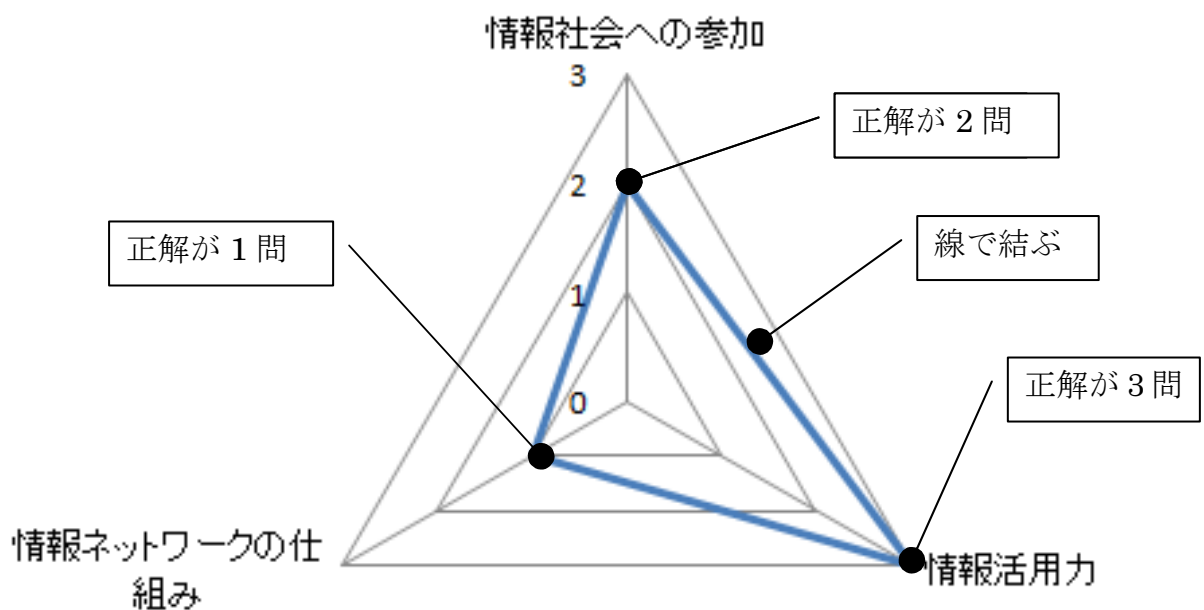
記入例

情報社会への参加 : 正解が 2 問の場合

情報活用力 : 正解が 3 問の場合

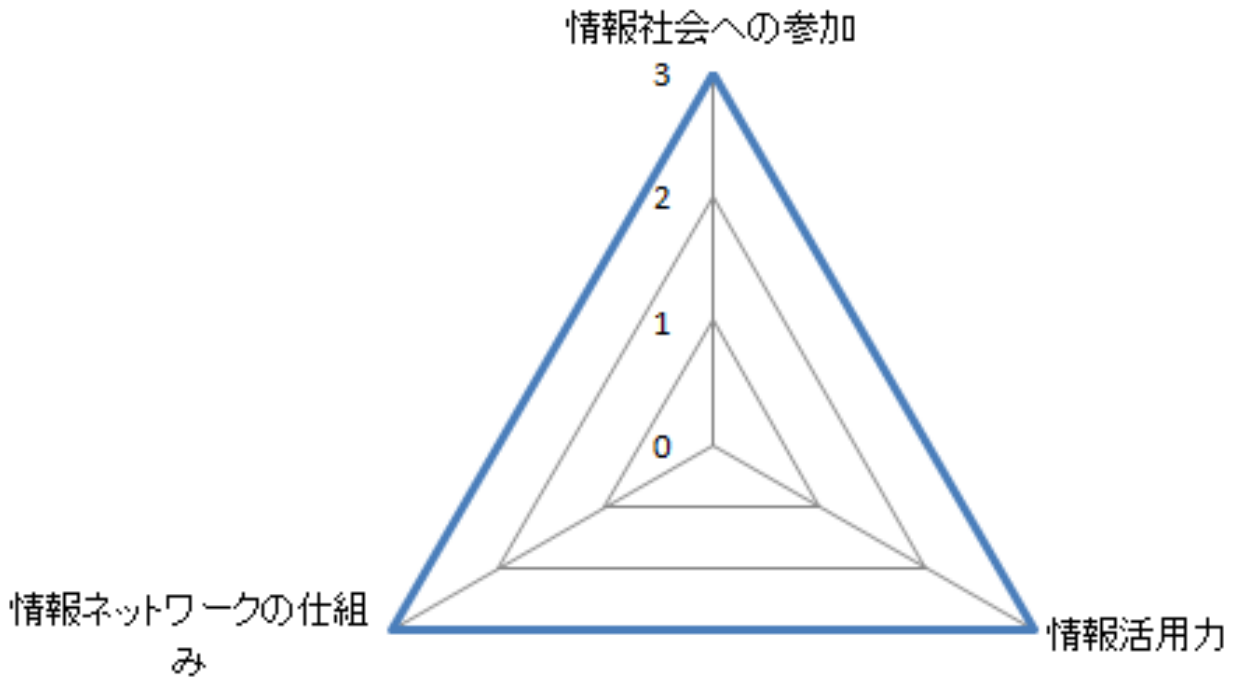
情報ネットワークの仕組み : 正解が 1 問の場合

あなたの情報活用フィールド (記入例)

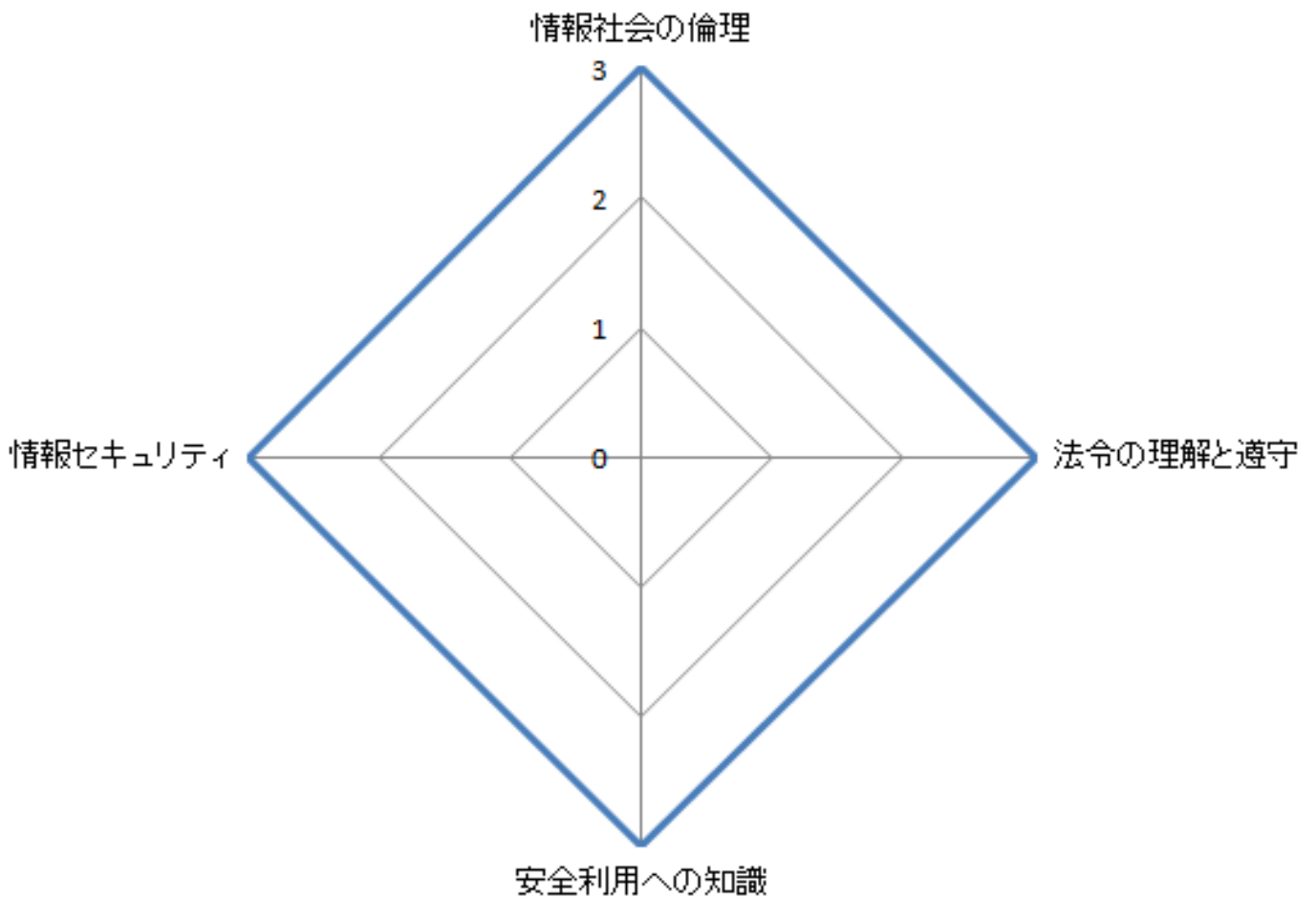


記入用用紙

情報活用フィールド



安全・倫理フィールド



この冊子は、平成22年度 文部科学省 「ICTの活用による生涯学習支援事業(国内における実証的調査研究)」により作成されました

**平成22年度 文部科学省
「ICTの活用による生涯学習支援事業(国内における実証的調査研究)」**

**自分の住む地域の魅力を再発見する
「地域まるごと博物館」活動と連携したインターネット活用能力
育成プログラムの開発に関する調査研究**

平成23年3月28日発行

**制作：一般社団法人 インターネットコンテンツ審査監視機構
〒141-0022 東京都品川区東五反田1-9-4 五反田宏陽ビル 2F
電話:03-5730-1601 FAX:03-6277-3116**

URL <http://www.i-roi.jp/>